

高木聖雨講演会

たかき

せいう

日本藝術院会員、公益財団法人全国書美術振興会理事長
日本書道ユネスコ登録推進協議会 副会長・総務部長・実務者会座長

書は人なり

日本の誇りを

世界の宝物へ

高木 聖雨
昭和24年(1949) 岡山県総社市生まれ。大東文化大学で青山杉雨氏に師事。
昭和49年(1974) 第7回日展で初入選。
平成27年(2015) 改組新第2回日展で文部科学大臣賞(最高賞)
平成29年(2017) 恩賜賞・日本藝術院賞受賞。
令和2年(2023) 日本藝術院会員。日展理事、(公財)全国書美術振興会理事長、謙慎書道会会長。
令和6年(2024) 文化功労者。

2026年
(令和8年)

9月21日「月祝」

琉球新報ホール

開場午後1時／開演午後2時〈全席自由席〉前売5,000円(当日5,500円)



日本書道ユネスコ登録推進協議会

日本の「書道」は現在、ユネスコ無形文化遺産への登録に向けた提案が行われており、11月頃の政府間委員会で審査される予定です。

主催／高木聖雨先生書道文化講演会実行委員会
実行委員長 茅原南龍(日本書道ユネスコ登録推進協議会沖縄担当)

共催／琉球新報社
力／公益財団法人全国書美術振興会、読売書法会、沖縄県書道美術振興会

後援／日本書道ユネスコ登録推進協議会、公益社団法人日本書芸院、読売新聞西部本社、沖縄タイムス社、沖縄テレビ、ラジオ沖縄、エフエム沖縄
賛／東洋額装株式会社、新星出版株式会社、書道用品専門店 丸正

お問合せ／一般社団法人茅原書藝会 ☎(098)996-1464



月刊競書誌「一心」は、2026年11月号で通巻「第500号」という大きな節目を迎えます。500号では、これまでの歩みを振り返る特別企画(アーカイブ)に加え、書の未来を見据えた茅原南龍の言葉等、記念特集を多数用意いたしました。そこで未来へ残す一筆として皆様の「書道を通しての思い出やこれからの希望」などを大募集いたします。
原稿用紙400字～800字程度 (締め切りは2026年9月25日〈金〉本部必着)
これからも皆さまとともに、書の魅力をより深く、より広く届けてまいります。記念号を手に取り、茅原書藝会の歴史を感じていただければ幸いです。